

花まるたより

06
2022



- ｜ 高濱コラム
- ｜ 夏期特別授業
- ｜ レインボータイム
- ｜ 花まるリビング
- ｜ 職人の無人島レポート
- ｜ 卒業生物語
- ｜ おはなしのキッチン
- ｜ 平沼純の旅する読書
- ｜ アノネ Lounge
- ｜ Rin コラム
- ｜ タカラモノ/はここに
- ｜ 花まるコラム
- ｜ 花まるファミリー



エピソードを持つ

先日、日本経済新聞夕刊の「それでも親子」という欄で、昨年亡くなった両親への想いを記事にしてもらいました。評判も良く、多くの方から「読んだよ」と連絡をいただきました。そのインタビュアーを受けた日のこと。取材はすることもされることもなくさんあり、翌日の予定表を見ながら確認する日々なので、「明日は日経か」くらいの気持ちでした。そして、取材直前になって「おいでになる記者さんは、花まるの卒業生らしいですよ」とスタッフから聞き、

そこでも「おお、それは嬉しいね」という程度の落ち着いた受け取り方でした。しかし、Aという名前を聞いて「えー!!」と声をあげました。直接教えもしたし、忘れられない理由があったからです。

当時の特算やスーパー算数で教えたその子をよく記憶していたのは、ご祖父の話が強烈だったからです。入院しているおじいさまから親戚に連絡があり、容態が良くないから来てくれというので、全親類が集まった。ところが実はおじいさまは元氣。驚く子どもや家族に「それでも言わないとみんな来ないじゃないか」と言ったあと、なんと紙芝居形式の『私の人生』という一生の間で起きた物語を描いた作品を、全員

に読んで聞かせた、というものでした。最後のありようとして、何ともスカッとするお話で、鮮烈に覚えていたのです。

それやこれやの思い出話に花が咲いたのですが、考えていたのは、「エピソードは武器だな」「エピソードは価値だな」ということです。みなさんも、同窓会などに行つて「あれ?こんな人いたっけ?」ということはないでしょうか。それは特段思い出になる逸話が何もない、ということとイコールでしょう。よく「目立っていたから(みんな覚えていて)」という言い方がありますが、その意味は「記憶に残るエピソードがある」ということだと思いました。

毎月、この「花まるだよ」に卒業生インタビューを掲載していますが、どう選択しているかをあらためて思い出してみると、無数にいる卒業生の中で「あの子どもしているかな」と思い浮かぶ理由が、まさに「忘れられないエピソードがある」ということも、再確認させられました。たとえばNHKに行ったHさんは、2年生のときに、サマースクールへ出発する大宮駅で、ひっくり返され寝技に入られるのを防ぐ柔道選手の体勢で、「帰るー!」とギャン泣きしてまわりを困らせた、その困らせの程度

のすごさにおいて記憶に残りました。京都

大学に行ったNくんは、「情熱大陸」の取材時に私がおこなった「青空授業(外の公園で算数の探求的なぞ解きを行う授業)」で、葉っぱを三回折れば45度の角度を作れることを見事に発見し、電柱の高さ測定への方法を編み出したときの集中する姿が印象に残りました。医学部在籍のーくんは、受験学年なのに小6でサマースクールに参加し、私の真似をして高い岩場からやったことのないバク転に無謀にも挑戦して、角度が悪くてこちらは「ああ、頭削った!」と肝を冷やした(実際は無事でした)。ことで、映像として焼きつきました。医師になったNくんは、スクールFCの夏台宿の合間の川遊びで、みんなと挑戦したカジカ突きに、誰よりも早く成功して羨望のまなざしを受け、陽光の下、得意満面であつた姿が忘れられません。

よく思い出せばいろいろと記憶もしているのですが、サツと最初に思出すきっかけは、ワンエピソードなのです。その点では、子ども側の記憶も、完全にエピソード記憶です。特におもしろいのは、サマースクールや勉強合宿のときに、私に「めちゃくちゃ怒られた」という出来事を嬉しそう

新刊情報

『おもしろ例文で身につく! 15才までに覚えたい言葉2000』

高濱 正伸, 柿花 尚吾 監修 (永岡書店)



15才までに覚えておきたい言葉を1冊にまとめました! 覚えたい言葉を使ったおもしろい例文が満載です。例文のネタは、国語、算数、理科、社会、美術、音楽、偉人、世の中、心理、仕事、芸能、スポーツなど、さまざまなジャンルから厳選しました。スラスラ読めて、楽しく記憶に残るので、語彙力も自然に増えていきます。おまけ要素の「こぼれ話」「柿花先生のおもしろ日本語話」「ちょっと補足」「白黒つける小話」で、言葉の世界がさらに広がります!

『次の角を曲がったら話そう』

伊集院 光 監修 (小学館)



『次の角を曲がったら話そう』はラジオ番組から生まれた。自由律俳句を生み出す喜び、読み解く喜びを伝えてくれる魅力的な一冊。国語・言葉の力、他者性、映像化する力など、教育で大事なことが詰まっている遊びであり、これをクラスや家族でやれば、ちょっとした流行になる可能性がある。

高濱の本棚

に語る子が多いことです。そのときは恐怖
だったりしたのですが、だからこそむ
しろ心に焼きつき、時の経過とともに、懐
かしい思い出になっていくのかもしれない
ん。そして、恥ずかしい思い出や辛かった
思い出ほど、ネタとして後々燦然と輝くと
いうことも言い切れると思います。他人の
自慢話には拒否の気持ちで混ざるものです
が、人の失敗話は共感を持って聞いてもら
えるものだからです。「しくじり話は金（あ
ればあるほど人生豊かになる）」とも言えま
す。

ちやうど『AEA with Kids』でアンビユー
の山野智久社長にインタビューしたときに
興味深い話が出ました。彼と知り合ったの
は数年前の経営者や学者や政治家が集まる
合宿勉強会のような場だったのですが、レ
クの時間のビーチバレーで、懇親が目的で
もありジェントルマン揃いの雰囲気の中
で、一人審判に文句を言い、叫んでいるの
が初参加の彼だったのです。「あれあれ、あ
んな若者もいるんだな」と感じたのですが、
今回のインタビューの場で聞くと、何とそ
れは意識してわざとやっていたというので
す。新参者で気持ちは完全にアウエー。ま
ずは「悪目立ちでもなんでも、先輩方に名
前を憶えてもらったほうが良い」という積
極的な戦略だったというのです。さすがに、
コロナ禍の大逆風の中で社員たちを守り抜
き、奇跡のV字回復を成し遂げNHKで特

集されただけあるなど、その透徹した人間
観と意志力に感心しました。ここでの「悪
目立ち」というのも、まさしくエピソード
で記憶に残るということですね。

さて冒頭の話に戻りましょう。

再会してすぐにおじいさまの話題になっ
たくらい、私にとっては印象的な物語だっ
たのですが、実は有名な外科医で著名人の
手術の執刀などもされていたと、いまさら
ながらに聞きました。記者になってまだ一
年、インタビューはメモを何度も見ながら
の初々しいものでしたが、一生懸命さが伝
わる、好感を持てるものでした。聞けば、
取材先でも予習の甘さなどで怒られること
もあるけれど、最後は必ず「頑張りなさい
よ」と応援されるということでした。

それを聞いて「やっぱりな」と感じまし
た。小学生の頃から、いじめなどが起こり
がちな高学年になっても、彼女の周り半径
2メートルくらいは平和の光で護られてい
る感じなのでしょうか、おだやかで頑
張り屋で気品のある人格が印象的だったか
らです。

その彼女が、1時間の取材を終えて、エ
レベータに向かう途中で立ち止まり、ここ
らを向きました。そして、「先生、私、メシ
が食える大人になりました!」と言ってく
れました。「おおそうか!これから頑張らな

きゃな」と朗らかな雰囲気ですり出しまし
たが、エレベータのドアが閉まるなり、な
んだか胸が一杯になり、涙がポロリとこぼ
れるのでした。ハキハキとした声、すっく
と背筋が伸び凛とした立ち姿とともに、ま
た一つ素敵な瞬間が、心に焼きつけられま
した。

花まる学習会 高濱正伸

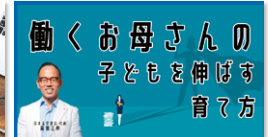
花まるだより 2022年6月号 (令和4年6月12日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう
花まる学習会
発行人 高濱正伸
企画・編集 久慈 菜津紀
編集 金井彩・清田 奈甫
坂田翔・高橋 奈穂
デザイン 春日 梨沙・西野 奈布子
印刷 アークランド株式会社



子育てや教育に関する専門家の
講演会や対談動画を、花ま
る学習会にお通いの方は、無
料で視聴できます!

<https://www.hanamaru-college.com/>



1～3年生向け



夏休みだけの！ 夏期特別授業

夏休みだけの特別コンテンツ、「サマペー」！
実際に授業で取り組む問題と、その目的を紹介します。

国語

「書き言葉」を楽しむ

「国語なぞペー」「文章化」「映像化」の3部構成で、「書き言葉」におけるさまざまな表現方法を学んでいきます。発見したこと、書いたものを共有することで、言葉の魅力を味わうコンテンツです。1年生は、夏期特別授業3日目に初めて作文を書きます。2～3年生にとっても、「他者に伝わる、破たんのない日本語を書く」という意味で、言葉の力がより鍛えられ、普段の作文に活かすことができる内容になっています。

国語なぞペー

長文読解をするうえで基本となる「文同士の論理関係を把握する」をテーマに、問題に取り組めます。「おなかがいなくて、泣いていた私を、先生がお母さんを呼びに行ってくれた。」という文章を読んで「おかしい」と思えるか。文章の正誤を判断する基準として、論理的に正しい文が、どのくらいのレベルでインプットされているか。そのようなことが、その人の読解力を左右します。普段の会話に登場する「ても」「ので」といった接続助詞の問題から始まり、最終日には接続詞を用いた問題が登場します。擬音語、擬態語、比喩といった、書き言葉をより豊かにする表現技法も学びます。

普段の日常会話ではなかなか行きつかない「表現の工夫」について、ほかの子の表現も味わいながら深めます。

文章化

絵を見て、それを言葉で描写します。普段の授業で行っている『たこマン』を素材にすることで、考えやすく、前向きに取り組めます。皆の前で発表する前に、主語・述語がそろっているか、係り受けの関係がねじれていないか、よりふさわしい言葉はないかを模索します。普段の口頭発表より一歩踏み込んで、自分の考えを吟味する時間にもなるでしょう。

映像化

韻文を読んで、文章に書かれている要素を「過不足なく」絵にします。一字一句読み落とすことなく精読し、かつ情景をイメージする力が必要です。絵にすることで、どこまでイメージできているかが一目瞭然になります。物語や小説を読解するために必要な知識を総動員してイメージする力を鍛えます。



算数

数・量のボリューム感をとらえ、 算数の基礎となる概念を身につける

算数では①単位感覚を養う②手を動かす習慣をつけるという2つのテーマを扱います。高学年以降の「割合」や「立体問題」に立ち向かう基礎となる力を、「主体的に」鍛えます。2～3年生は分数も扱います。学校で習っていないくても、やり方次第で分数の概念を「なあって！」と簡単に理解できるものです。

① 単位感覚を養う

なかなか身につかない…という悩みも多く聞かれる単位換算の分野。ある程度の反復は必要ですが、実は根深いのは原体験不足です。「牛乳パック1本分は1L」と言われてもぴんと来ない、量感で考えれば明らかに間違っているのに気づけないといったことは、現場で見ていることです。

夏期特別授業では、耳から入った音を口に出して記憶することが得意な幼児期の特性を利用し、単位換算を「音」で覚えます。また、「重さ」「長さ」「体積」に関連する身近なものを思い浮かべることで、量の感覚を確かなものにします。生活の中で単位に触れることも大事です。2～3年生は、単位換算の問題にも挑戦します。

単位換算

【重さ】1000mgは1g
1000gは1kg
1000kgは1t

【長さ】10mmは1cm
100cmは1m
1000mは1km

【体積】100mLは1dL
10dLは1L
1Lは1000mL

問題に挑戦しよう！

⑤ レベル①

(1) 1Lは_____cc
(2) 10ccは_____L
(3) 1cmは_____mm
(4) 100mmは_____cm
(5) 1kgは_____g
(6) 1000gは_____kg

⑤ レベル②

(7) 4Lは_____cc
(8) 500ccは_____L
(9) 6cmは_____mm
(10) 900mmは_____cm
(11) 3Lは_____cc
(12) 8000ccは_____L

⑤ レベル③

(13) 16Lは_____cc
(14) 300ccは_____L
(15) 36mmは_____cm
(16) 2000mmは_____cm
(17) 7Lは_____cc
(18) 1000ccは_____L

② 手を動かして考える「算数」

平面と立体の作図に取り組みます。思考センスに優れていても、頭の中のイメージをささっと目の前の紙に描くことができないとテンポよく考えを進めていくことができません。平面では、点と点を素早く結ぶことで、先を見通して思った通りに手を動かす力を養います。立体の図形の足りない部分を補うことは、見えないものをイメージする力につながります。

算数問題①

図に示した図形に、点と点を結んで、図形を作ってください。

⑤ レベル①

⑤ レベル②

図手で考える算数

次の図形を、図手で描いてください。

A

C

B

G

E

③ 算数重点分野

1年生

数え上げや平面図形、時計の問題に取り組みます。「数え上げ」は算数の基礎的能力を高めるために一番大切だと言われている。また、生活に直接関わるものでありながら、1年生にとって壁になりやすい「時計」の問題も取り入れました。

2～3年生

「分数」を学びます。ケーキやピザという身近なもので考えることで、簡単に概念を理解することができます。楽しく覚えたことは忘れにくいものです。この楽しさが、高学年以降も学習に前向きに取り組む姿勢へつながります。

⑤ レベル①

時計の時刻を教えてください。

⑤ レベル②

時計の時刻を教えてください。

⑤ レベル③

時計の時刻を教えてください。

⑤ レベル①

図形の面積を求めよう！

⑤ レベル②

図形の面積を求めよう！

⑤ レベル③

図形の面積を求めよう！



こん げ っ

今月のレインボータイム

せっちやくざい

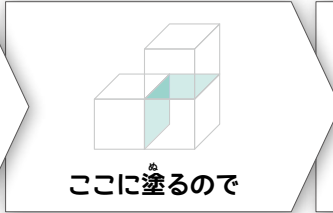
【接着剤キューブ】

さかた しょう はな がくしゅうかい
出題：坂田 翔（花まる学習会）

キューブ

キューブ

と を、接着剤でくっつけました。接着剤を塗った場所を、次のようにあらわします。



かいとう
解答は
こちら！



ひだり 左のかたちに合う塗り方を、①～③から1つえらびましょう。

レベル 10



①



②



③



レベル 15



①



②



③



レベル 30



①



②



③



レベル 50



①



②



③



レベル 99



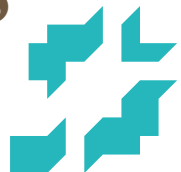
①



②



③





勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、3児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか。



“ピタリ”と当てはまる声かけ、そのときのその子に響く声かけ

苦手なものは？と聞かれたら「車の運転」と答えます。子どもが保育園に入園したタイミングで、十何年ぶりに運転を再開。5年経ったいまでも、慣れない道の運転は緊張します。

保育園の駐車場を出た先に、信号のない交差点があります。細い道ですが、絶対に通らなくては行けない場所。みんな徐行運転で、譲り合いながら車を走らせます。

あるとき、その交差点の1か所に「通学路スピード注意！」という旗が立てられました。子どもも多く行き交う場所なので、その旗があることにより車への注意喚起の効果があるのですが、「待って、そこに旗があったら、右から来る車が見えづらい！」と、私は内心では悲鳴をあげました。

運転が得意な人にとっては、それほど気にならない場所なのです。ただ私は、少しでも視界が広いほうがありがたいので、それを遮る旗が気になって仕方ありません。大多数には効果的でも、「その人」に焦点をあてたときに、「ピタリ」と当てはまるほど効果的ではないことは結構あるなあ、と考えさせられました。

「旗」は方法の事例ですが、声かけについても同じで、人によって響く言葉、響かない言葉があります。思い返すと、「そうそう、それが聞きたかった」というぐらい、私に絶大な効果をもたらした一言がありました。

車を購入したとき。ペーパードライバーだった私は、運転席に座り（何だ、このボタンの多さは……）と恐れおののいていました。それを感じ取ったのか、

スタッフの方が「押しちゃダメなボタンはないですからね。まずはいろいろと試してみてください」と一言。その言葉を聞いて、心から安心して、エンジンがかけられました。

車の運転が苦手です、と花まるの上司に何気なく話したとき。「ああ、運転は花まるの授業と一緒にリズムが大事。流れを止めないようにするといいたよね」とアドバイスをもらい、（なるほど！そういうことだったのか！）と自分の中で、何かがずんと腑に落ちた感じがありました。

どちらも本当に何気ない言葉ですが、そのときの私にはとても響きました。前者は「不安にピンポイントで寄り添ってくれたこと」、後者は「誰も教えてくれなかったことを、馴染み深いとえて説明してくれたこと」が効果的だったのでしょう。そしてどちらも、私が「苦手意識」のあるものに対して、ずっと光を差してくれたように感じました。

書籍『花まる学習会若い先生のための教えることが案になる技術』の中で、高濱が「子の目の輝きが消えたら、その指導法はすぐに変える」と語っています。

—— ほかの先生がほかの児童生徒にやって成功したことが、うちの子に当てはまるかどうかなく、わからない（目の前の子の）目が輝いていなければ、柔軟に変更を加えてみる——

この言葉を聞くと、いつも、自分の子育てにも思いを馳せます。

—— ほかの家庭がこうだったからといって、うちの

家庭に当てはまるとは限らない。私自身がこうしてほしかったからといって、目の前の子どもそう思うているとは限らない——

そして、私自身に寄り添ってもらった言葉がとても嬉しかった経験にまで思いを広げます。

—— 私も子どもの目の輝きをよく見て、そのときどきで、個人に、ピタリと当てはまる言葉をかけてあげられる大人でありたい—— 特に、その子が苦手だと感じているものほど、誰かの言葉かけひとつで、道が開けていくかもしれません。まずは、子どもの目の輝きをよく見るところから始めたいと思います。



『花まる学習会 若い先生のための教えることが案になる技術』

高濱 正伸 著
(実務教育出版)

先生向けの本ですが、子育てのヒントもたくさん詰まっています！



『みどりのゆび』

モーリス・ドリュオン 作
安東 次男 訳
(岩波書店)

「いまの子どもたちに“響く言葉”というテーマの本を考えていたときに、ちょうど戦争のニュースが流れてきて、昔読んだこの本のことを思い出しました。何を感じ取るかは人それぞれですが、読むことで「戦争について考える」きっかけは必ず得ることができる本です。」

無^む人^{じん}島^{とう}

レポート 15

新章 突入！いよいよ近づくサマースクール。「花まる子ども冒険島」で子どもたちを受け入れるため、カトパンと職人の新たな挑戦が始まりました。

醤油メシ①

たぶんオレのことが好きなんだと思う。あうときはいつも笑顔だし、優しい言葉をかけてくれるし、コーヒーのおかわりだしてくれるし。そういえば、うたた寝から起きるとブランケットがかかっていたこともあったなあ。思い切って「僕です」とか言ってみようかなー、微笑みを添えて。としばらく窓から瀬戸内海を見ているうちに高度が下がり始めて広島空港に着いた。」ありがとうございました。行ったらっしやいませ。はかない。

7月のサマースクールに向けて、島の開拓は順調とはいえなかった。事前に私が来られるのは今回が最後で、次にカトパンと会うときは本番である。今回の開拓でできる限りのことをしておきたい。キャンプサイトの拡大、風呂の増設、物資の買い出し、危険エリアのマーキング、島内の水源と野生食材の調査……ただでさえ仕事は山積みである。しかし、今回はさらに攻めたミッションを計画していた。本番と同じ食料条件にして島で過ごすのである。つまり、米と水と調味料以外の食料を持たずに無人島に渡る。

「醤油メシ」ルールで一日を過ごして、実際に何が起るかを確かめること。これは必須のミッションだった。我々が未体験の危険要素を、ぶっつけ本番で子どもたち

に体験させることはできない。だから、これは本番に向けての体を張った安全管理でもある。カトパンと覚悟をして決めたことだが、我々はむしろワクワクしていた。だからいまここにいるのだらう。

島に着き、私が船から荷物を降ろしていると、突然、島の入り口でカトパンが叫んだ。「来てください！早く！」かなり興奮している。何かを見つけたようだ。急いで駆けつけると、カトパンが大きく両腕を広げた。「いまそこに、こんなへびがいました！」「えー！食べるんじゃない？」途端に我々の目つきが変わった。狩人モード、という言葉が頭をかすめる。と同時に、脳が焦ったあけく連想を間違えてあずさ2号がBGM的に流れた。そしてへびはすでに密生した竹の奥へ8時ちょうどに旅立っていた。ああん。

来島のそらじゅうに生えている竹は、暖竹という。1本の丈は3m、太さは2〜3cmほどしかないが、それが隙間なく大量に群生しているため、人間が入り込めない壁の塊のようにになっている。ここに逃げ込まれると、それ以上獲物を追えない。結局へびの捕獲は諦めることになった。ああん。

とはいえ、早速へびが見られたのは幸先がいい。米以外の食べ物にありつけそうである。うまくいけば醤油メシは回避できるかもしれない。しかし、さよならがいつま

でたつてもとても言えそうにないカトパンは、その後もしばらくへびを逃がしたことを悔しがっていた。前回のタコへの執念といい、カトパンには並々ならぬ狩猟本能を感じる。

あずさ2号が、脳内リフレーションするうちにくじら12号を呼んできたが、実際に流れていたのはそばかすだった、という間違いに気づいた頃に、荷降ろしが完了した。どうしてかしら、あの歌の歌詞が思い出せないの。拠点を作ると、早速山に入る準備を始める。今回、山に入る目的は3つあった。食料調達、危険エリアのマーキング、そして非常用物資の荷揚げである。

非常用物資は、20人が3日間食いつなげるように水と食料の量を算出した。津波も想定し、それを標高68mの山頂に備蓄する。結果、100ℓサイズのコンテナを2つ、山頂に運び上げる作業が必要になった。今回運ぶのは1つで中身も抜いてあるが、サイズは小型の冷蔵庫くらいある。これを持ってジャングルのような山を抜け、てっぺんまで行けるのか、やれんのか。子曰く、「出る前に負けること考える馬鹿がいるかよ」

100ℓのコンテナを手にも、我々はストロングスタイルで山へと入って行った。

(つづく)

カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深く関わってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



職人 橋本 一馬

花まる学習会関西ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から、「職人」のモデルネームを持つ。その経験を元に、野外体験「ものづくりの国」、オンライン工作教室など、独特なイベントを担当している。家具製作技能士、狩猟免許など、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。今回、趣味のキャンプ経験を買われ、無人島開拓に喜んで参加した。



今どうしてる？

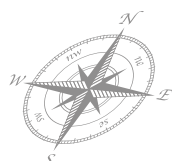
卒業生物語

ようこそ先輩!!



柿花 尚吾さん

【スクールF C】南浦和校（小5～中3）
スーパー算数→高校受験コース
【進路】公立中学校→さいたま市立浦和高等学校→國學院大学
【現在】スクールF C 国語科講師
【監修本】『おもしろ例文で身につく! 15 才までに覚えたい言葉 2000』（永岡書店） 発売中!



花まる学習会・スクールF C卒業生のその後に迫るインタビュー!!
第12弾は、高濱の教え子で、現在はスクールF C南浦和校で国語科を担当している柿花にインタビュー!!



『おもしろ例文で身につく! 15才までに覚えたい言葉2000』
高濱 正伸、柿花 尚吾 監修
(永岡書店)

とも納得だよ。

■国語講師としての日々

高濱 教え子が「メシが食える大人」になるということとは最大の喜びの一つなのだけれど、直接的に仕事を継いでくれる喜びはひとしおだよ。尚吾はマイワールドで生きているような生徒だったな。あの頃はどんなことを考えていたの？

柿花 おもしろいことしか考えられませんでした。授業がつまらないと、まったく聞けなくて。でも高濱先生の授業は、お世辞抜きで集中できないことがなかったです。

高 先生をするということは、子どもたちを惹きつけ、おもしろいことを提示し続けることだと思っているよ。

■スクールF Cとの出会い

柿 小学5年生のときに友達のお母さんが「い

高 俺も同じだよ。メシが食える・モチベーションという大きい目標を考えると、その一番のポイントが、笑わせ上手なことにあると言っても過言ではないよな。

柿 実は、僕の国語力を支えているものの一つは、「お笑い」です。

高 お笑いが好きなんだ。

柿 小さい頃から言葉のセンスで笑いをとれる人に憧れていました。お笑い番組を見るのが大好きでしたし、友達と組んでキングオブコントの予選に出場したこともあります。

高 お笑いが人を育てることが判明したな。お笑いに傾倒した人は、おもしろいことにこだわれる人生を歩むということだね。読書もしていた？

柿 本はかなり読みましたね。小学生の頃、親の本棚で…

高 「親の本棚」！キーワードだな。

柿 わが家では夜の8時頃には寝室に行かされていたのですが、まだ眠くないことが多くて。親の本棚から本を持ってきて、ドアを開けて薄明りを入れて読んでいました。

高 尚吾は算数や数学もよくできたけれど、国語が土台として深まっていったこ

柿 国語って、教科書に考え方や解き方が明確に載っていないので、理不尽だと思われやすい教科だと思うんです。明確な解法が確立されていないのならば、それを一から作る、そのことにおもしろさを感じてこの道を選びました。どうしても解き方のプロセスを明確に、わかりやすく伝えられるかを考えることが本当に楽しいです。

高 ものすごいものを世の中に出すかもしれない。すでに「柿花先生がいるから南浦和校に行きたい」という声を何件も聞いていて、本当に楽しみです。こうやって話せるのも、いまのうちかもしれないな。

柿 ありがとうございます! いつまでも、高濱先生の教え子です!

学生時代の没頭経験や野外体験の醍醐味など、続きはこちら!



おはなしの キッチン

vol.2



夜のしずけさが、そのなかになにかはらんでいるように思われるのだ。邸宅ゼンたいが息をこらしているように思われ、くらやみがトムにこづいづめいているように思われるのだ。ーおいでよ、トム。大時計が十三時をつたよ。きみは、いったいどうするつもりなんだ？

『フィリパ・ピアス作・高杉一郎訳』『トムは真夜中の庭で』岩波書店より

フィリパ・ピアスによる『トムは真夜中の庭で』は、戦後のイギリス児童文学の中でも最高傑作であると評価されているタイム・ファンタジーです。

物語は、主人公の少年トムが、はしかにかかった弟から離れるため、おじさんの家に預けられるところから始まります。ある夜、トムは階下の大時計が不思議なことに「13回」鐘を打つのを聞きます。すると、窓の外にヴィクトリア朝時代の庭園が広がり、トムはそこで不思議な少女ハティと出会います。毎晩さまざまなことを語り合う二人でしたが、やがて別れの時が近づいたとき、ハティの意外な正体も明らかになります……。

「時を永遠ととりかえた」「人間は、それぞれべつべつな『時』をもっている」。私たちが生きる「時間」に関して印象的な言葉にあふれるこの物語をひも解けば、異なる時間を生きる人同士が出会ふ不思議さや素晴らしさに思いをはせることができるのです。

児童文学には食べ物がとても魅力的に描かれているものが多くありますが、この物語ではどうしても寝つけないトムが、真夜中にグウェンお婆さんの食料品貯蔵庫に入りこむ場面が印象的です。

男の子というのは、おなかかすいていてもいなくても、食料品貯蔵庫へはいっていきたがるものだが、トムはどうしてもそのあたりまえなことをお婆さんとわからせることができなかった。

食料品貯蔵庫とは、イギリスの家庭では台所の北側につくられることが多い納戸のような部屋のこと。中にはありとあらゆる食べ物が貯蔵されますが、この場面の挿し絵には、冷えたポーク・チョップや山盛りのリンゴ、瓶入りのジャム、米の入った缶などさまざまな食べ物が子細に描かれていて圧巻です。

よく見ると、奥の棚には何かの果物のコーディアル——季節のハーブや果物などをシロップに漬けこんだ濃縮ドリンク——と思われるものも描かれています。

一般的にはアルコール飲料を指すコーディアルですが、イギリスでは主に子ども口にする甘いシロップのような飲み物、水や炭酸で割ったり、紅茶に入れたり、アイスクリームやヨーグルトにかけたりと、アレンジも自由自在。季節によってさまざまな食材を利用してもいいですね。

PICK UP



『トムは真夜中の庭で』
フィリパ・ピアス 作
高杉一郎 訳
(岩波書店)



スクールFC
ひらぬま じゅん
平沼 純

フルーツとハーブのコーディアル

作業時間：30分 難易度：☆☆☆☆

レシピ・写真提供：料理家 江口 恵子 (natural food cooking)



recipe

材料

好みのお柑橘 (今回は宇和ゴールドを使用) …… 1個

キウイフルーツ …… 1～2個

ミント、レモンバームなどのフレッシュハーブ …… 2～3枝

氷砂糖 …… 果物の重量と同量

レモン汁 …… 1個分

作り方

- ①果物とハーブはきれいに洗って水気をしっかりふき乾かす。柑橘は皮ごと小さめのくし切りにし、キウイフルーツは皮を剥いて小さめのくし切りにする。2つ合わせて重量を量り、同量の氷砂糖を用意する。
- ②煮沸消毒またはアルコールで消毒したガラス瓶に、①の果物とハーブ、氷砂糖を交互に重ねて入れていく。最後は氷砂糖で終わらせる。ふたをして直射日光の当たらない涼しい場所で5日～1週間ほど、果物から水分が出て氷砂糖が溶けるのを待つ。
- ③②の中身を小鍋に移し、中火にかける。沸騰したら3分ほど加熱し火を止め、ざるで濾す。レモン汁を加えて清潔な瓶に移し、冷蔵庫で保存する。
- ④水や炭酸水で割って飲んだり、紅茶に加えて飲んでもおいしい。夏はかき氷のシロップとしてもおすすめ。

*季節の果物を使って1年中楽しめるコーディアル作り。果物の重量と同量の氷砂糖を重ねて作り、水分が出たら加熱することで保存性が高まります。冬場はフレッシュハーブの代わりにシナモンやクローブなど、体を温めるスパイスを加えるのもおすすめです。



生み出す～自分の手、自分の心で～



『つくるたのしみ
あそびのレシピ』

鈴木 洋子 著
柴原 のりこ 写真
村山 純子 構成
(福音館書店)

身近にあるちょっとした物を利用して、こんなに素敵なものができるんです！かわいらしい小物入れやフォトフレーム、すごろく、鮮やかな万華鏡、ひな人形……。それぞれの作り方がわかりやすく紹介されていて、完成品を写した写真もとても美しい。「次は何を作ろうかな」と、見ていだけでワクワクしてくる魅力的な一冊です。



『ペンキや』

梨木 香歩 作
出久根 育 絵
(理論社)

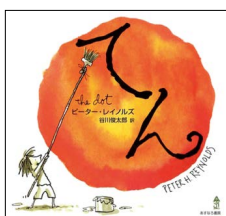
亡き父親と同じペンキ屋になったしんやは、お客が本当に心から望む色は何かを考え続けます。父の足跡を辿るなかで知った、世の中の濁りも美しさもはかなさも、みんな入った「ユトリ口の白」とは……。『西の魔女が死んだ』で有名な著者による静謐な語り口と、プラハ在住の画家によるノスタルジックなイラストが魅力の一冊。



『ガラスの麒麟』

加納 朋子 著
(講談社)

ある事件で命を落とした、高校生の安藤麻衣子。彼女に関わった複数の人物を通して浮かび上がってくるのは、彼女の紡いだ「ある物語」と、誰もが内に秘めるさまざまな思い……。思春期の少女たちの美しくも脆く、儚い心。つかみどころがなく、光もあれば闇もある人の心を繊細に描き出し、単純なミステリー物とは一線を画します。作中作『お終いのネメゲトサウルス』も印象的。日本推理作家協会 受賞佳作。



『てん』

ピーター・レイノルズ 作
谷川 俊太郎 訳
(あすなろ書房)

絵を描くことが大嫌いなワシテは、苦し紛れに画用紙に小さな「てん」を描きます。しかし翌日、教室にはその「てん」が担任の先生によって額縁に入れられて飾られてあって……。極めて短いストーリーでありながら、自分の心のままに表現する喜びを感動的に描いた奥深い絵本。同じ作者による続編の『つばい』とあわせておすすめ。



『えをかくかくかく』

エリック・カール 作
アーサー・ビナード 訳
(偕成社)

青い馬や赤いわに、黄色い牛、水玉模様のロバ、オレンジ色のゾウ……。絵筆をもった男の子が描き出すのは、先入観にとらわれずに自由な心で生み出されたものたち。自分にとっての真実＝本当の色を探し続けるおもしろさと喜びを伝える傑作絵本。2021年に急逝した作者の少年期、自由に絵を描くことが禁じられていたナチス政権下での実体験がもとになっています。



7月 <第4回> 夏休み直前！～2022年の夏に読みたいこの一冊～

「探究」する夏、「思い出す」夏、そして「祈る」夏……。2022年の夏休みは、是非この講座で紹介した本をかたわらに！読書感想文や自由研究のヒントになる本はもちろん、海や山、冒険を描いた絵本、古きよき日本の夏や戦争を描いた児童文学など、夏に彩りを添える本の数々をご期待ください。

7/14 (木)・7/16 (土) 10:30～12:00

参加費 一家族 500円 (税込)

申込締切 開催前日の 19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2022/>

全国から
参加可能！





モデスト・ムソルグスキー

1839-1881 ロシア

アノネ ラウンジ Lounge

vol.35

アノネ音楽教室の作曲家の人生を辿る伝記教材『オペラ』の一部をご紹介します！クラシック音楽の作曲家を毎回一人取り上げて、名曲が生まれたストーリーに迫ります！



ムソルグスキー

バラキレフ、キュイ、ムソルグスキー、ボロディン、リムスキー＝コルサコフ。ロシアのペテルブルクの街に集まった5人は、お互いの家を行き来しながら、作品を発表し合い、意見し合っ
て作曲を進めました。「ロシア 5人組」は、ロシア人の思いや考えを表現した「ロシアらしい音楽」
を作ろうとした5人です。

ムソルグスキーは、ロシアの西のはずれにある小さな村の地主の家に生まれ育ちました。6
歳からピアノを習い、音楽が大好きでしたが、17歳からはお父さんの意見によって兵隊として働
き始めました。ムソルグスキーはときどき、仲間にピアノと歌を披露しました。この頃知り合っ
たばかりのボロディンは、ムソルグスキーを「礼儀正しく明るい人気者」だと言っています。

18歳になる年、バラキレフ、キュイと出会います。「バラキレフのように音楽家として生きていきたい！」そう考えたム
ソルグスキーは、軍隊をやめて、2歳年上のバラキレフから音楽の勉強を教わるようになりました。ところがその頃、ムソルグ
スキーの一家は、いままで持っていた土地の半分を失い、お金がなくなっていました。農奴という田畑を耕す仕事を奴隷
のようにさせられていた人々を解放する宣言が出されたのです。けれどもムソルグスキーはこんなことを言っています。
「地主たちは自分のことばかり考えて争い合っているのに、農奴たちは落ち着いて話し合いをしている」ムソルグスキーは農奴
たちに親しみをこめたまなざしを送っていたのです。「ぼくが表現したいのはロシアの人々なんだ」音楽についてそう語って
いたムソルグスキー。ペテルブルクに戻って作曲を再び始めた後も、その思いは変わりませんでした。

『組曲《展覧会絵》』より《プロムナード》 (1874年 M. ムソルグスキー作曲)

「現実の世界では繰り返すメロディーのような同じことの連続はないし、将来何が起こるのかもわからない」
そう考えて、音楽も現実に近づけようと思いました。それは音楽の世界のルールを破る、普通とは違った考え方で、5人組
の中でもよさをわかってもらえないことがありました。

ムソルグスキーはだんだんと5人組の集まりに顔を出さなくなり、貧乏でひどい生活の中、友達に支えられて何とか
作曲を続けました。大切な友達の一人、画家のハルトマンが突然病気で亡くなってしまったのはこの頃でした。有名な
組曲『展覧会の絵』は、ハルトマンが描いた10枚の絵のイメージを音楽にしたものです。

1922年、フランスの作曲家ラヴェルがオーケストラに編曲して発表したのをきっかけに、『展覧会の絵』は世界中で
有名になりました。1881年に亡くなった後、その生涯と同じくらいの年月が経てようやく、ムソルグスキーはすばら
しい作曲家として多くの人々に認められたのです。

聴いてみよう
プロムナード



編集：佐藤 泉純 (アノネ音楽教室)

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL7kd0pC6w0ucOxb6xRttYKpIsuzalWxRo>

松浦加奈・おゆる「彼女が講演会の同行（案内）で、都内の小学校を目指して二人で歩き出したら、道に迷いグルグル回ったあけく「ここですな」とたどり着いた大きな建物は、某宗教の教祖の自宅でした。そういうおちょこちょいな面もあれば、うんうんと仲間の話を聴いてくれ、みんなに愛される存在という面もあるキュートな女性。「最近頼もしくなった！」と先輩たちが絶賛しています。

こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

36

次に、どうしたらいいの？
—しあわせを自分で決める

たらしっていたのか、私はずっと考えていました。

その年の最後のクラスを終えた日。「以前は、何をするにも自信がないというが、なんでも確認していたんです。よく考えたら、いつもスケジュールに追われている毎日で、でも『じゆうに』やっていいって、りん先生が言っていたから！って言って」と彼女の成長を嬉しそうに話してくださるお母さんの姿がありました。

「見て、ここをね、こうやってみた」「見て先生、こんな形になった」5月に初めてクラスにきた彼女は、「こんなふうに来たことをすべて私に伝えなければ気が済まないようでした。「なるほど、ここを工夫したいんだね」「ここはこんなふうにも見えるね、いいアイデアだね」「感性の共有」をする、承認を得られたことが誇らしいのか、「みんなにも見せなくちゃ」と仲間のもとに戻っては、数分おきにまた私のもとへやってきます。

こんなことは珍しいのです。とくに、もともと創ることそのものが大好きで、どちらかというと自分の世界に没頭する子が多いう Atelier for KIDS のクラスで、彼女の言動はとても目立っていました。どこか切実さを持って何度も何度も作品を見せに来る彼女の要求を、全部受け止めてみよう、と2回目会ったとき、私は決めました。そして夏が来る頃、彼女はもう、いちいち何かせを見せに来ることはなくなりました。そのことが、彼女の内面にどのような変化をも

*

「先生それで次はどうしたらいいの？」困った、わからないよ。といった表情。その場にいる子どもたちは全員、怪訝な顔をして「何を言っているんだろうね」と目で私に話しかけます。はじめて「じゆうに創作する」場に来た彼女は、なぜ周りのみんながその質問をしないのかということさえも気がつきません。「次にどうしたい？それは先生にはわからないよ。あなたはどうしたいの？」と笑って聞き返します。ハッと目。

「次に、どうしたらいいの？」子どもたちの、「同じような発言」の裏にあるのは、ただ「自分で決める」ことを知らないだけなのかもしれません。「自分のしたいこと」に没頭して楽しみ、感性を豊かに働かせ、誰かの価値観に邪魔されず遊ぶ経験を十全にできたかどうか。そのことはきっと、彼らの人生を大きく決めるほどの重要なことなのだ、今では確信しています。

自分の人生を生きる。そのことほど大切なことはないでしょう。それができれば、しあわせを自分で決められるからです。

Rin (井岡 由実)



オンライン Atelier for KIDS

7/17(日) 10:30 ~ 12:00 布に描く

参加費 1名3,300円(税込・材料郵送費込)

定員 小学1年生~中学生36名(抽選)

申込締切 6/29(水) 19:00

<https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>

全国から
参加可能!



ARTのとびら公式YouTubeでは、Rinコラムを音声で聞けたり、保護者の方からの相談に答えたりする「アトリエRADIO」、工作好きな子どもたちのおうちARTを応援する「Rin先生が作ってみたい」シリーズなど、盛りだくさんです。

Rin (井岡 由実)

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会年中・年長向け教材開発に携わり、冊子『1年生になる前に』では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子育て』（実務教育出版）ほか。

RinせんせいのSNS
ARTのとびらYouTubeなど
すべてのリンクは
こちらから▶



記憶のかげら

少し前の話になりますが、東京の今年の桜はちょうど入学式に重なるところも多かったようです。桜の木の下で写真を撮っているご家庭をいくつか見かけました。教室の前では、舞い落ちる桜を帽子の中に集めようとびよんびよん跳ねながら遊ぶ子どもたちの姿が見られました。本当に子どもたちは何でも遊びにしまっようです。

遊ぶ子どもたちの姿を見ると、記憶にはなくても自分にもそんな時代があったのだらうと想像できます。はつきりとは覚えていなくても、舞い降りてきた桜が思わぬ風の流れて帽子の外に出てしまったり、上手に帽子の中に着地した花びらが、フェルト状の生地から取れにくくなったり：そんな細かいかけらのような記憶だけが妙に残っているものです。そんなことを思い出しながら、散っていく桜と子どもたちの姿を見ていると、「来年はどんな姿を見せてくれるのだろうか」とゆつたりと流れていく時間を感じます。

日本という国に住んでいると桜の木に特別な思いを抱かずにはいられません。花の美しさもさることながら、その散り際に魅力があるからではないかと思っています。花の美しさは、桜に限らずどの花でも持っています。しかしこの出会いと別

れの季節に満開になり、一斉に散っていく儚くも美しい姿は、なかなかほかの植物には見られません。舞い落ちる桜の美しさに、過ぎ去った日々やこれからの未来のことが思い起こされます。また翌年も同じ光景が繰り返されることも、私たちは無意識のうちに期待しているはずで。舞い落ちる桜の花が象徴するのは諸行無常であると同時に、繰り返される悠久の時間でもあります。自分がいなくなっても永遠にそこにあり、春はまたやってくるという安心感が、舞い落ちる桜にはあります。喪失と再生が桜にはあるのです。

繰り返されていく自然と比べると、人間のつくったものは儚いものです。先日、用があって生まれた町の近くを通りました。上野と成田を結ぶ京成線。成田を出発して数駅目に宗吾参道という小さな駅があります。そこを通るときに思い出の場所が見えるはずでした。「酒々井ちびつこ天国」というレジャービルです。小さい頃、家族に何度も連れていってもらいました。私は電車の窓に寄りかかって、それが見えるのを待っていました。やがてそこを通過すると、その建物が見えました。しかし、その建



物は薄暗く廃墟のように見えました。嫌な予感がし、すぐに調べてみるとその施設は数年前に休園していたことを知りました（事実上の閉園のようです）。

その瞬間、胸の真ん中をドンと撃ち抜かれたような喪失感に襲われました。永遠に存在すると思っていたわけではありませんが、終わりがくるということも想像していませんでした。そう思うと、今まで眠っていた記憶のかげらがつぎつぎと甦ってきました。真夏の太陽の下で賑わう人々の姿、

ぬるい子ども用プールの水の感触、水に浸かった細い自分の足、流れていた竹内まりやの曲、焼けるように熱いプールサイド、そこに待つ若い日の母の姿、家族で食べたお弁当の味……。こんなにも覚えているのか、と自分でも驚くほど多くの思い出が、失われたことによつて甦ってきたのです。同時に当時はわからなかったことも見えてきました。たまの休みに、子ども三人を連れて一緒に遊んでくれた父のこと。日焼けした背中

で翌日仕事に向かうのは大変だったことでしょう。母もまた、朝早くから家族のお弁当を用意して、日中は熱いプールサイドで家族を見守ってくれました。目の離

せない子どもたちを真夏の太陽の下で見続けるのは大変なことです。「こんなに楽しいのに、なんでお母さんはプールに入らないのかな？」と当時は思っているだけでしたが、いまならばわかります。

もう決して帰らない日々を思うのはとても切ないものです。しかし同時に100%幸福だったと思える記憶があることが、いまの自分を支えていることも実感できたのです。毎年咲く桜とは違い、もう二度と再生されることのない日々。その喪失感はとても大きなものですが、何年経ってもその一瞬一瞬が残っているのです。二度と戻らぬものが気づかせてくれたこと、それがいまはただただありがたいです。

花まる学習会 山崎 隆



山崎 隆 Yamazaki Takashi

東京東ブロック教室長。千葉県の内陸部出身。2歳上の姉と3歳下の弟と、だだっぴろい関東平野の片隅で育つ。小さい頃、外遊びはもちろんだが室内で遊ぶのも好きで、図鑑を開いては恐竜のいる世界を想像していた。高学年の頃より伝記を通して歴史に親しむ。休みの日には、青春18きっぷで目的もなく出かけることを楽しみにしている。

伝えたくて 伝えたくて

9月、私が担当している「高学年クラス」では「デザイン」という授業を行いました。デザインと言っても、ただ「ステキな」「映える」デザインを作るのが目的ではありません。「自分が相手に伝えたいことを伝えるためには、どんなレイアウトがいいのか、どんな素材なら伝わるのか」など、「伝える目的を達成するためのデザイン」について考えてもらうことが真のゴールでした。

製作終了後、数名に発表してもらいました。子どもたちも、大人も、「デザインの裏には、何か伝えたい意図がある」と頭の中ではわかりつつ、実際に発表者の完成品を見ると、どうしても見た目のインパクトに目がいついてしまいました。一人目の作品に対して、「桜の細かいところまで書けている」「色使いが美しい」など、キレイさについての感想が目立ったのです。

ところが、ある女の子の発言で、みんなの意識が戻されました。「Aくんの『春』の文字が、桜の花と木を同じ色で、Aくんが『本当に桜が好きで、春が好きなんだなあ』と伝わっ

てきた」

一瞬クラスの空気は固まったのですが、すぐに拍手が生まれ、その拍手からは、「そうだよね、見た目勝負の間じゃないもんね」という声が聞こえてくるような気がしました。それ以降、子どもたちのデザインを見る目が変わりました。「作者は何を伝えたいのだろうか」、そこに目を向け、それを肯定する発言が増えたのです。子ども間で刺激し合った、素晴らしい空間でした。

さて、私もこのときの子どもたち同様に、子どもに「表現されたものの見方」を教えるもなかったことがあります。花まる学習会のサマースクールでの出来事。サマースクール最終日、子どもたちは作文書きの時間があります。「タイトルの言葉を

工夫すると、読む人が惹きつけられるよ!」「自分が考えたこと・気持ちを書こう!」「五感を使うと、読み手が読んでいておもしろいと思う表現ができるよ」「特に楽しかったことを深掘して書くといいよ!」など、私がレクチャーをした後、子どもたちの作文タ

花まるコラム

2022年6月

イムがスタート。

子どもたちの書く様子を見てみると、2年生のBくんの作文が目に残りました。たくさん書いているのですが、こんな内容だったのです。

「二日目のあさに、川あそびをしました。川あそびしたら、バスにのってホテルにかえりました。おひるはカレーでした。そして…」

私はこれを見たとき、「もしかして、とりあえずやったことを書いている?これを見たとき、お母さんはどう思うかな?」と焦ってしまい、この子のそばに腰を下ろしました。そして、一緒に言葉を引き出そうと、「たくさん書いているね。特にBがおもしろかったのは何かな?」と話しかけました。

すると、Bくんからはこう返ってきたのです。

「コング、ぼくえらべない!お母さんにサマーのことを全部伝えたい!」

この言葉を聞いて、焦って軌道修正しようなど、大人の都合で動いていた私は大反省でした。この子は「サマーに来ていないお母さんに、すべてを伝えたい!」一心で、思い出せる限りやっ

たことを書いていたのです。「やったこと・あったこと」をそのまま書く子の裏にこんな気持ちがあったとは、私もまだまだ子どもの気持ちを理解できていないな…と、また一つ子どもを見る視点が増えた気がしました。

作文もデザインも、似ていると思います。「伝えたいこと」を言葉にできず、そのうえで「どうやったら伝わるか」を、相手をイメージして組み立てる。もちろん、Bくんのように、低学年の子にとっては「相手をイメージして組み立てる」という思考が、まだまだ難しいかもしれません。思いついたことを勢いで書いてしまうこともあるかと思えます。しかし、子どもたちの書いている文章には、「何かを伝えたい」という気持ちが隠されているかもしれません。その気持ちを子どもたちからすくいあげ、毎回の作文への原動力につなげられるよう、これからも教室での「作文発表会」「作文添削」に努めていきます。

花まる学習会 前原 匡樹



はな まるの教室長を紹介します！

花まるファミリー

FC …スクールFC アノネ音楽教室 アルゴ …アルゴクラブ オンライン 無人島 Flos …フロス GONOU …GONOU 囲碁教室

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！



桂田 拓弥

東京南

東京都



菊地 健斗

関西

山形県



早乙女 優介

東京東

神奈川県



佐藤 暢昭

埼玉

Flos

北海道



椿原 葵

関西

鳥取県



濱本 和美

神奈川県北

広島県



舟橋 一夢

中京

愛知県



水口 加奈

埼玉

GONOU

東京都



宮阪 太久哉

東京東

千葉県



川岡 未歩

東京西

愛知県



高濱 正伸

〇〇〇

熊本県

リーダーネーム

名前

所属

出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね！

6月の誕生花は **バラ**



高濱が、花まる教室長をちょっとおちゃめで紹介する新コーナー！自己紹介ならぬ他紹介で、花まるの仲間たちを一年かけてまるっと紹介しちゃいます。どうぞお楽しみに！